

静岡精華学園報

令和6
2024
秋季

静岡福祉大学／静岡大成高等学校／静岡大成中学校／静岡精華幼稚園
発行者:学校法人静岡精華学園 〒425-0063 静岡県焼津市本中根549-1 TEL.054-656-2100(代) www.s-seika.jp

SHIZUOKA
SEIKA
GAKUENHOU
VOL.8



みんなで読書を楽しむ2つの文庫 「バリアフリー文庫」・「キンダー文庫」

静岡福祉大学附属図書館 図書課長 進藤令子

みなさま、こんにちは。

図書館ではみんなで読書を楽しむ全国で本学のみの特徴である2つの文庫を設置しています。「バリアフリー文庫」と「キンダー文庫」です。2024年7月1日、2つの文庫を多くの方々に利用いただけるように、図書館の一番目立つ



正面入口に移設・充実させて、リニューアルオープンしました。

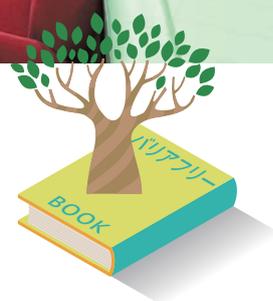
「バリアフリー文庫」は、障がいのある方や世代に関わらずだれもが読書の楽しみを実感できるバリアフリー絵本(図書)や福祉をわかりやすく理解できる資料をそろえた施設です。

誰もが読書を楽しむ社会を目指して、2019年6月、「読書バリアフリー法」が成立しました。

スウェーデンの図書館では、1993年以降、視覚・言語障がい等の子どもが楽しめる本を集めた本棚「りんごの棚」が定着しました。

日本では、2019年、読書バリアフリー法の制定により県内の図書館でも「り

んごの棚」の設置が広がってきました(本学:2015年文庫設置)。



in-dex^{もくじ} vol.8

「バリアフリー文庫」・「キンダー文庫」

みんなで読書を楽しむ2つの文庫

Taisei Time

探求心を育み、創造性を磨く新しい大成スタイル!

静岡大成高校 美術部

作品展の授賞とボランティア活動の報告

新聞活用講座

静岡福祉大学と静岡大成中・高のコラボ企画

静岡福祉大学

ゼミ紹介 / 韓国スタディ / 道都大学との交流協定新聞記事
大学サークル紹介 / 学食日本一

静岡精華幼稚園

行事特集

特集 戦争と平和を考える

1

3

4

4

5

8

10

文庫には、手指の動作と遊びを学べるよう工夫された全国のボランティア団体や山本敬子さん(島田市)制作の「布の絵本」や絵本に触図と点字がついた点字付き絵本、音訳図書「DAISY(デイズ)図書」等がそろっています。

「DAISY(デイズ)図書」には、2025年に創刊90年を迎える幼稚園紙芝居の創始者「高橋五山」作品や本学所蔵の戦前の紙芝居を静岡民放クラブ(静岡市)の元アナウンサーの音声で制作した本学だけの作品もあります。

「キンダー文庫」は、1927年11月、日本で初めての保育絵本として創刊された『観察絵本キンダーブック』(株フレーベル館)や静岡県で初の幼児絵本『あそびASOBI』(1948年(株)片井商会)等の幼児(児童)教育の歩みを伝える絵雑誌、絵本がそろっています。『キンダーブック』は静岡市鷹匠町出身の「日本のフレーベル」と呼ばれる倉橋惣三氏(1882～1955)が編集顧問として創刊から編

集に関わった静岡県ゆかりの絵本です。

文庫には、お腹が空いて、困っている人がいると、どこでも飛んでいく、みんなのヒーロー「アンパンマン」の生みの親・やなせたかし氏(1919～2013)の作品がそろっています。「アンパンマン」は、1973年、『キンダーおはなしえほん』10月号に『あんぱんまん』として『キンダーブック』から誕生した作品です。

やなせさんと妻の小松暢(こまつのぶ)さんをモデルとした『あんぱん』は、2025年NHK「連続テレビ小説」として放映されます。

本学図書館は静岡精華学園グループの学生、生徒、園児、教職員、保護者、同窓生をはじめ地域のみなさまも利用いただけます。

図書館見学、図書の出張展示、バリアフリー絵本・キンダーブック講座についてお気軽にご相談ください。ご利用をお待ちしています。



静岡大成中学校

探求心を育み、創造性を磨く 新しい大成スタイル!

中学主任 吉永光希

TAISEI TIME

SINCE 2025

SHIZUOKA TAISEI
JUNIOR HIGH SCHOOL

来年度4月から本格的に始まるプログラムの1つであるTaisei Timeは、今年度、試行期間として1年生のみに実施されています。Taisei Timeは、自分の趣味や特技をとことん追求したり、仲間と協同して活動しながら、探求心や創造性を磨き、社会で活躍できる人になることを目的としたプログラムで、生徒の自主性を尊重し、追求しようとする心を大切にしています。

子どもたちはそれぞれの講座で、友だちと一緒に試行錯誤しながら取り組んでいます。1つものものを作り上げたり、一緒に競ったり、じっくり取り組んだりすることで、達成感も味わうことができます。Taisei Timeの時間は、子どもたちも自分の好きなことができるので、本当にイキイキしています。

※令和6年度はプレ実施です。令和7年度からの実施のために一部講座を開設します。来年度からはもっと講座が増える予定です。

今年度開講している講座



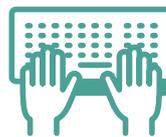
レクリエーション・スポーツ



クラフト・イラスト



グローバルスタディ



プログラミング



ゲームクエスト



自由テーマ (趣味・特技)



静岡大成高校

令和6年度活動記録

静岡大成高校
美術部

今年度も、多くの作品展へ出品し、18年間継続しているボランティア活動も引き続き継続をすることができました。

作品展では「しずおかの緑 絵画コンクール」で銀賞・優秀賞、「市民文化祭」で教育長賞・文化協会賞、「東京国際青少年美術展」で1・2・3位をいただき、「市民芸術祭」で2名入選、高文連主催の「中部展」で11名入選し、そのうちの1名が上位40点に選出され、さらに上の「県大会」へ出場し、授賞式にも参加することができました。今後は新進アーティスト



ト展(県大会)・SEIKA AWARD(全国大会)等への出品も予定しております。

ボランティア活動では商店街へ絵付けした風鈴を手配りし静岡新聞にカラーで掲載され、また老人ホームへ部員の描いた夏・秋・冬の絵をプレゼントし掛け替えも行いました。さらに今後は大成高校美術部伝統の「松ぼっくりツリー」の制作手配りをし、年明けには「春の絵」もプレゼントをする予定です。

以上、今後も静岡大成高校並びに美



術部の名を広げるよう積極的に様々な活動に取り組みアピールしていきたいと思えます。

静岡新聞社 元論説委員 読者プロモーション局 読者部
小笠原康晴氏

新聞
講活用

(令和6年11月12日・13日)

静岡福祉大学と
静岡大成中・高のコラボ企画

中・高の図書室で開かれた新聞活用講座、その二日目。今日のテーマは「戦争」でした。

明治・大正・昭和の戦争を振り返り、何百万もの日本人の命が失われたこと。それは今、ウクライナやガザで、またアフリカの各地で起こっていることと同じだったということ。

小笠原さんは、そのことを生徒たちに気づいてもらった上で、昭和19年に出征したままフィリピン沖で帰らぬ人となった静岡師範(現静岡大教育学部)出身の岩ヶ谷治裕さんと、彼の親友で戦後は中学校教師として人生を送った秋山卓さんのお話をしてくださりました。

小笠原さんは、新聞記者として語り部となろうとしているのかもしれませんが。

本日参加してくれた生徒たちも、お話の内容の大切さが心に響いたようで、最後までとてもしっかりとした態度でした。



静岡福祉大学

地域貢献を行うゼミ活動

榎木ゼミでは、県内の各自治体と連携して、地域課題に対する研究活動を行っています。令和6年度は、焼津市「障害福祉のPR及び人材確保について」「交通手段が限定される市民への支援の検討」、静岡市「養護者による高齢者虐待防止の啓発について」、伊豆の国市「高齢者の居場所づくり『わたしの居場所』実態調査」、富士市「若年性認知症ケアパスの作成」と、4市で5つの研究



事業を3年生16名、4年生11名で分担して取り組んでいます。焼津市の「障害福祉のPR及び人材確保について」では、市内で障害福祉サービスのニーズは高まっているが、働く職員が不足している、という課題に対して、専門職としての仕事の魅力を実践している方々にインタビューして、冊子にして配布するとともに、大学と焼津市のホームページに掲載し、魅力を発信しています。富士市の「若年性認知症ケアパス作成」の研究では、

若年性認知症の方がどのような社会資源を活用できるのかが一目で分かる資料を作成しています。

このようにいずれの研究も各自治体から挙げられた地域課題に対して、学生の視点で課題の整理と解決方法を検討し、各自治体に研究成果を報告しています。正しく地域貢献を行うゼミ活動を展開しているのです。

静岡福祉大学 社会福祉学部福祉心理学科教授
榎木博之

韓国スタディツアーを実施しました!



8月19日(月)から22日(木)で3泊4日の韓国スタディツアーを実施しました。

今回の研修では、社会福祉学部・子ども学部の両学部から学生6名が参加し、教職員同行のもと韓国慶州市にある東国大学校WISEキャンパス(協定校)や大学付属幼稚園、児童養護施設等を訪問しました。

東国大学校のある慶州市には多くの文化遺産があり、都市全体が「屋根のない博物館」と呼ばれています。研修は、

施設見学の他に世界遺産である仏国寺の見学や新名所の皇理団通りの散策など盛り山なプログラムでした。韓国の施設訪問は、韓国と日本の施設比較にもなり、社会福祉士や保育士を目指している学生にとって専門分野の学びを深める貴重な機会になったと思います。

大学交流の時間では、東国大学校の学生や教職員の皆さんから温かな歓迎を受け、和やかな雰囲気の中でお互いに大学紹介をしました。その中で本学の学生は手遊びを紹介し、会場の皆で手を動かして楽しみました。

日本語と韓国語を交えての学生交流では、それぞれのグループで話が盛り上がり、急遽学生おすすめのカフェに移動して交流の時間を延



長するほどに、学生同士すぐに打ち解けて友達になっていました。

参加した学生は6名とも今回が初めての海外でした。研修後のアンケートでは、参加者全員が心に残ったプログラムに東国大学校の学生と交流できたことを挙げていました。韓国に行ったからこそその出会いや感動は、初めて海外へ行く前の緊張感も含めてきっと大切な経験になったと思います。

今年度、本学の国際交流は大きな一歩を踏み出すことができました。国際交流委員会では、これからも学生だからこそ得られる多様な海外経験を広げていくことを目指していきます。

静岡福祉大学 学生支援課 鈴木百合子



静岡福祉大 星槎道都大(北海道)と交流協定

静岡福祉大が8月に星槎道都大(北海道)と大学間交流協定を締結したことを記念し、星槎道都大の飯浜浩幸学長を招いた講演会を焼津市の同大で開いた。

両大学はともに社会福祉学部を設けている。同協定では互いの教職員や学生の交流を通じて学術的、文化的な関わりを深めることを目指す。静岡福祉大の長坂和則社会福祉学部長と飯浜学長が大学時代の学友という縁がきっかけで

焼津に学長招き 講演

実現し、8月23日に北海道で協定書を取り交わした。

飯浜学長は「共に拓(ひら)く未来」と題して教職員向けに講演。地方の小規模校ながら学生に活気があると評価を受ける秘訣(ひけつ)などを紹介した。今後の連携に向けては「共に強みを持って支え合っていきたい」と述べた。



交流協定締結を記念して講演する星槎道都大の飯浜学長
＝焼津市の静岡福祉大

静岡新聞 9月30日掲載



baseball 野球サークル

野球サークルのサークル長をやっています社会福祉学部健康福祉学科3年の望月です。野球サークルは、部員数が選手約20名マネージャー約10名です。活動日はみんなの授業のスケジュールに合わせて週に1度放課後グラウンドで行っています！

僕たちは「野球」を楽しむ！をモットーに日々活動しています。高校野球をやってきた人、中学まで野球をやっていて大学でまたやりたいという人、初心者だけど野球が好き！やりたい！という人、いろんな人が集まり野球を楽しんでいます。週1回の練習日と週末の試合が主な活動で、大会には積極的に参加しています。

また、マネージャーでもキャッチボールなど野球を楽しんでもらう機会があります！部員全員が野球というスポーツを楽しめます。是非！一緒に野球を楽しみましょう！



- サークルに入った理由 野球が好きなので野球サークルに入りました。
- サークル長になった経緯 昨年は年に一度だけであり、サークル長を引き継ぐ人が私しかいなかったため野球サークル長を任される形になりました。
- サークル長の大変なところ・勉強になったところ チーム作りです。
- 今後どういったサークルになって欲しいですか 野球サークルに来れば友達が増える、そんな場所になる事がサークル長としての目標です。

light music 軽音サークル



軽音サークルのサークル長をやっています社会福祉学部福祉心理学科3年の大神田です。

軽音サークルは、部員数が約25名、バンドごと相談して活動しています。

音楽を通じて学校生活を豊かにする。楽器演奏はもちろん、同じ趣味の仲間同士交流を深めて活動しています。

- サークルに入った理由 邦ロックのライブやフェスに行くのが好きでそこで楽器に興味を持ち軽音サークルに入りました。
- サークル長になった経緯 軽音サークルをもっと盛り上げていきたいと思い自分から立候補しました。
- サークル長の大変なところ・勉強になったところ どうすればライブに来てもらえるか、聴きに来てくれる人を集められるか、どうしたら楽しんでもらえるのかを考えると大変であり、勉強になりました。
- 今後どういったサークルになって欲しいですか 大学内だけでなく地域の人たちにも静岡福祉大学の軽音サークルを知ってもらい地域を盛り上げられるサークルにしていきたいです。

うちの学食が日本一！

学食総選挙 2024

マイナビ主催
うちの学食が日本一！
学食総選挙2024
総合得票数1位に
なりました！

企画協力：法政大学広告研究会HUAS

学食総選挙2024 総合得票数1位記念の イベント開催中！



エントリー&投票結果は以下のHPをご確認ください。

<https://gakumado.mynavi.jp/contests/gakusyoku/>

昨年も静岡朝日テレビ「とびっきり静岡 日曜日版」でご紹介されるなど、近年の学生食堂ブームにより、注目が高

まっております。

その中で、本学の食堂は学生目線に立ち、低価格で魅力のあるメニューを展開しております。

食堂スタッフ一同、学生の皆さんの来店を心よりお待ちしております。

なお、本学の食堂は一般の皆さまでもご利用いただけます。

なんと！マイナビ主催「うちの学食が日本一！学食総選挙2024」において、本学の食堂メニューが“総合投票数1位”になりました!!

全国からエントリーのあった学食メニュー32個のうち、皆さまのご投票により、初出場にて“総合投票数1位”を獲得することができました。

改めて、本学の食堂メニューにご投票いただきました皆さま、本当にありがとうございました。



※取材風景↑

<https://www.instagram.com/p/CypEMjTraAQ/>



静岡精華幼稚園

行事とともに育つ精華幼稚園の子どもたち

静岡精華幼稚園 副園長 谷澤徳子

精華幼稚園の2学期と言えば、たくさん行事とともに心と体が大きく成長する時期でもあります。

2学期が始まってすぐの行事が祖父参観です。子どもたちはおじいちゃん、おばあちゃんと一緒に遊ぶのをとても楽しみにしていました。この日の楽しそうな参観の様子を見て子どもたちは幸せだなと思いました。祖父母の皆さんの眼差しはとても温かく、各保育室はやわらかな空気に包まれていました。

今年の9月はここ数年同様とても暑く、10月の初めに予定されていた運動会の練習を外で行うことができず、運動会の時期を一ヶ月先送りし、10月に行うことにしました。そのため11月の初めに予定されていた造形展を10月後半に前倒しして、運動会と造形展の同時進行という事になりました。先に行う事になった造

形展に向けて活動を進める中、運動会の練習も行っていき事になったため計画的に時間を使わなくてはなりません。今年度の造形展のテーマは「幼稚園70周年おめでとう！」です。静岡精華幼稚園は今年70周年を迎え、皆で幼稚園のお誕生日をお祝いしようという事になりました。テーマが決まったところで、次は何を製作するかを決めます。年少児はお祝いのパーティーの食べ物、年中児は園庭にある遊具、年長児はそれぞれ場面に合わせて遊ぶ自分を作ることになりました。年少さんは食べものだけにイメージがわきやすく、教師と共に何日もかけて製作を行っていきます。年中さんは自分の作りたいものを教師のアドバイスを受け、時には手伝ってもらいながら進め、紙やあき箱と格闘しながら自分の想いを形にしていきます。年長さんは自分



作りです。どんなところで遊ぶ自分を作りたいかによって制服の自分、体操着の自分、水着の自分とそれぞれ考えて製作をします。細かいところまでいろいろこだわり、でき上がった自分はどことなく本人に似ていて微笑ましいです。幼稚園の遊戯室が小さな精華幼稚園の園庭の世界に、そしてステージの上は皆で作った大きなケーキがあるパーティー会場に大変身し、それぞれ自分たちが作った製作物が置かれます。遊戯室の周りには1学期から描いてきた絵の中からそ

れぞれ一枚選び展示してあります。また、廊下、階段の壁面には子どもたちが普段、自由に描いてきた絵の中から一枚選び展示しました。10月30日から3日間、学年ごとに行った造形参観では、年少さんは親子で自分の好きなものを製作、年中さんは自然物を使っての製作、年長さんは釘打ちをしながらコロコロゲーム作りを行いました。親子で幼稚園内の造形展も見て回りました。自分の描いた絵や製作物の場所に嬉しそうに案内している子どもたちの姿を見て、自分達が作ったものや描いたものに愛着がもてるのは活動が楽しかったのだろうと私も嬉しく思いました。

この造形展の活動と同時進行で進められていたのが11月9日に予定されている運動会の練習です。9月の猛暑時は園庭で練習することができず、各保育室や遊戯室、大成高校の体育館などで練習をしてきました。年長さんは憧れだったソイヤを自分達が踊れるとあって気合が入ります。10月中旬頃になると暑さも少し和らぎ、外で練習ができるようになりました。どの学年も毎日時間の調整をしながら運動会に向けて気持ちを高めながら練習を進めていきます。朝、登園すると体操着に着替えて園庭を走る年長さん。この毎日の努力によって走る力も高まっていきます。継続は力なり!です。

精華幼稚園の良さの一つに学年を越えて皆で一つの行事に向かっていくことが挙げられます。お互いに踊りを見せ合ったり綱引きや、タイヤ取り、リレーの応援を全学年でしたりと皆で盛り上げていきます。ある日のこと、年長さんのリレーの練習で頑張れ〜の大声援が聞こえてきました。私は職員室で仕事をしていたのですが、大成高校のグラウンドから聞こえてくることにびっくりしました。それだけ年少、年中の子どもたちも一体となって盛り上がっているということです。そしてこの年長さんの姿に年少、年中の子どもたちも憧れを抱くのだと思います。綱引きやタイヤ取り、リレーは団体競技です。それぞれ自分が頑張る事も大事な事ですが、皆で力を合わせる事、

チームで協力して頑張ることがとても大切なこととなります。皆で力を合わせて頑張ることで勝つことができるんだということに子どもたち自身が気付くこと、そしてそれが日々の練習の中で経験できるということは、とても貴重なことであり良い経験だと思えます。

そして迎えた運動会当日、暑さのため11月開催にした運動会でしたが、今度は寒さ対策を考える事になるとは…でしたが園児席を日向に移し、競技が始まる頃には丁度良い気候の中運動会は進んでいきました。年少さんにとっては初めての運動会。泣かずにその場に立っていられば花まるの年少さんですが、とても可愛く皆で踊ることができました。素晴らしい! 年中さんは手にポンポンを持ち、隊形移動も取り入れとても生き生きとした良い表情で遊戯を見せてくれました。



た。そして年長さんは憧れだったソイヤを踊りました。手先にも神経がいきわたり、たくさん練習したブリッジ、ピラミッドなど力強く年長児らしい遊戯でした。遊戯が終わり戻ってきた年長さんが今日が一番良かった!と満面の笑顔だったのがとても印象的でした。クラスで作戦を立てて臨んだタイヤ取り、そして何と言っても最後のリレー、実際に走る年長さんはもちろんのこと、私たち職員、そして保護者の皆さんも独特な緊張感の中競技が始まります。リレーはチームで頑張ること、バトンをとさないこと、最後まで諦めないこと等、今まで頑張ってきたことを心にチーム一丸となって走ります。真剣な顔で走る子どもたちはリレーの練習を始めた頃の表情や走り方とは全然違います。

今の世の中、考え方もいろいろで、運動会のあり方についてもいろいろな意



見があると思いますが、やはり勝った喜び、負けた悔しさをその時々で感じながら、頑張る気持ちを子どもたち、職員皆で共有し、頑張っていくことは大切なことではないかと思えます。勝敗をつける以上順位が付きますが、結果だけでなく、それまでの過程を大切に、今まで頑張ってきたことを誇りに思っていて欲しいと思います。閉会式の時、負けてしまい悔しかった白チームの年長さんは涙が止まりませんでした。これも今まで頑張ってきたからこそその悔しさ、涙だと思えます。この思いはこれからの生活の中で生かされていくことだと思います。私たち職員も子どもたちの気持ちに寄り添いながら進んでいきたいと思えます。

この他にも幼稚園では10月に秋の遠足やPTAバザーを行いました。また、大成高校の2年生の授業の一環として生徒さんが子どもたち向けにクラゲを実際に見せてくれたり、一緒に遊んでくれたりしました。水族館でしか見たことがないクラゲに子どもたちは興味津々で実際にきちんと加工してあるクラゲを触らせてもらったりと貴重な体験をさせてもらいました。今後も別の生徒さんが来園する予定です。このような交流を今後も続けていければと思います。

精華幼稚園では12月の劇遊び参観会に向けた活動が始まっています。子どもたちがお話の世界に入り込んで演じる姿が楽しみです。



特集

戦争と
平和を
考える

✈

其の四

空襲と飢餓に耐えた
戦時の女学生たち勝又千代子
(第46回 高校第2回卒業生)

戦争が終わる

1945(昭和20)年8月15日、日本は負けました。私は負けたことが悔しくて、竹槍で突っ込んでいきたいと思いました。そして私たちはあちこちの焼け残った建物を借りて勉強しましたが、高松の元住友工場の寄宿舎を仮校舎にして、2学期が始まりました。軍需工場を作るために、急ごしらえに作った工具宿舎の一部でした。窓ガラスも畳もろくに無いおんぼろ長屋で、2階の天井から1年生が落ちてきたこともあるようなところでした。ポロポロの畳に長机に正座しての勉強です。教科書も無く先生が毎日ガリ版で作って下さいまし

世界情勢は各地で起こる対立によって混迷を深め、東アジアが戦火に包まれることも絵空事とは言えなくなってきました。そんな中での日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞は、私たち日本国民に、戦争の悲惨さと平和の尊さを世界に伝える責任を負わせたもののように感じます。

今回は、「戦争と平和を考える」をテーマとしたいと考え、連載してきた勝又千代子さんの「空襲と飢餓に耐えた戦時の女学生たち」に加えて、静岡精華(現大成)中学・高等学校教員OBの小長谷嘉子さんの手記「死のかたち」を紹介します。(編集部)

た。衣食住すべて不足していて、下駄や藁草履をはいて交通手段も無い中、麻機や新聞のような遠い道を通いました。お腹もすいたであろうに、どんなお弁当を持って行ったのか覚えがありません。

みんな大人になりかけた年頃で、生理になる人もあり、今のように便利なものがない時代です。生理は不潔なものや秘密にされていたので、失敗しないよう、皆に知られないよう、すごく気を遣い緊張しました。手当てするものが無いので、ちり紙や端布を集めて使いましたので、モンペや座布団にシミが付いたりして、恥ずかしい思いをした人も多かったです。

全ての物が不足し、特に食料は配給がわずかにあるだけで、餓鬼という言葉があります。皆食べ物を得ることに死に物狂いでした。すいとんを食べられればいい方で、サツマイモの茎、かぼちゃの種、野草も摘んで食べました。いつもお腹が空いていました。戦後、田舎への買い出しに姉とよく行きました。当時、藤枝と相良の間に「藤相線」という小さな電車があり、それに乗って大勢の人が田舎に買い出しに行くのです。物々交換で着物や背広を食料に変えたり、わずかな食糧に必死に頭を下げて売ってもらいました。車両に窓ガラスは無く、そこから出入りして満員の電車に乗り、押しつぶされそうになりながら、わず

かな食べ物を警察の検閲を潜り抜け、手に入れたのです。

でもとにかく生き延びることができました。伸び伸びとやりたいことができるということは、どんなに素晴らしいことか。手探りの戦後教育の中で、先生方も模索しながらの授業だったと思います。ディベートという生徒同士の討論会「テストは是か非か」も珍しかった。演劇の発表会では「ロミオとジュリエット」をやったり、コーラスのコンクールがあつたり、表の野原でダンスをしたり、毎日が楽しくて仕方ありませんでした。

— 編集部より —

勝又さんのこの手記はまだ終わりません。この後「精華の再建」について述べておられます。まさに精華の校歌にある「ああ きのふ灰の中なる 羽ばたきの音は聞きしか 母校よ母校よ 静岡精華」の部分です。ここを来年の春号に繋げたいところですが、ウクライナ戦争の始まりをきっかけに始めた連載です。一旦、勝又さんの「空襲と飢餓に耐えた戦時の女学生たち」を終了させていただき、今後「精華の復興」をテーマに特集を組む時に紹介させていただく予定です。



上のQRコードから前号空襲と飢餓に耐えた戦時の女学生たち(秘密兵器を作る日々)その1をご覧ください。



お世話になった精華学園を退職して三十五年が経ち、来年一月に満九十歳になります。

拙文を『学園報』にというお話があった時、面映い気持ちでしたが、戦争の実相の一端が伝えられれば、年寄りの独り言も役に立つかと思いました。

広島に原爆が落とされた時、「ピカッと光って全市が壊滅し、これから先五十年は草も生えない新型爆弾」と聞いて、静岡の空襲とは違うと思いました。

日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞は、活動に携わってこられた方々の長年のご苦勞が報われて真に喜ばしいことで、核のリスクが高まっている世界情勢にあって意味深いものと思います。

進む温暖化や異常気象、急速な生態系の変化。宇宙に浮かぶ奇跡の星に生きているのにその地球が壊れていく音をよそに、争いを続けている愚かさ。私たちにできることは何かを考えずにいられない思いがします。 2024年秋 小長谷嘉子

死のかたち 小長谷嘉子

日暮りの中で、私達はいろいろな事に出くわしてその都度さまざまな判断を下して行動している。平穏な日常生活では、生死を分ける判断の場に遭遇することなど滅多にあることではないが、戦争や災害などに見舞われた時、判断と行動のタイミングが、生死を分ける時がある。

七十八年前の静岡空襲の時、幸い我が家は全員無事だったが、家族すべてが亡くなった家もある。あの夜、何が起きたのか。風景は一変し、日常だった場所に死者たちがいるのが見えた。生きている自分との間の、修復しようのない落差に立ち竦んだ。

家の前のコンクリートの防火用水の中で、しゃがんで俯いて死んでいた、紺緋の着物を着た男の子。お向いの家と縁続きだった、同じ町内の若い奥さんと子供二人は、お向いの家の池の中で見つかったが、焼け崩れた母屋の瓦礫に埋まっていたので、分かったのは暫く経ってからだったと聞いた。小学四年生だった自分が、あの時見たり聞いたりした事は、ほんとうだったのかという気がする時がある。

空襲より大分前、米軍機が撒いていった「お茶の静岡後回し」というビラを見て、何となくまだ大丈夫という気がしていたが、だんだん警戒警報のサイレンが頻繁になり、空襲警報も時々発令されるようになっていった。

ある日、大きな飛行機が彗星のような白い長い尾を引いて飛んでいくのを見上げていると、便利屋と呼ばれていた町内の運送店の小父さんが、あれは飛行機が高度1万メートル以上を飛ぶ時できるもので、飛行機雲と言うんだよと教えてくれた。小父さんは物知りだと感心した。

後回しでも空襲は来た。終戦の二ヶ月前、六月十九日の深夜、出ていた警戒警報が解除になったので家に入って寝ようとしていた時、突然一キロ程離れた静岡駅の方角に火の手が上がった。焼夷弾だから防空壕にいても駄目だ、すぐに逃げるようにと父が言い、私達家族はそのまま何も持たずに、市街地の西を流れる、二キロ離れた安倍川に向った。その時すでに同じように移動している人達があったが、だれもものを言わず真っ暗い通りは足音だけがしていた。

父は独り家に留まって、地下にあった小さな倉庫の空間に手当たり次第に物を運んで入口に鉄板を置き土のうを積み、数軒先に火が迫ったのを見て家を離れた。

その時、便利屋の小父さんが鉄製の台枠を運び出そうとしているのを見たのだそうだ。「x xさん、もう駄目だ。逃げた方がいい」と父は大声で呼びかけたと言う。そして歩兵第三四連隊があった、今の駿府城公園の中へ、お濠の橋を渡って逃げ込んでも無事だった。

安倍川の河原に逃げた私達は、夜が明けて避難した川の傍の学校で、焼けなかった地域の人達が作ってくれたおむすびを食べて、家に戻るようになった。

川に近いお寺の閉じた門の所に三、四人、門に頭をくっつけるようにして蹲ったまま動かない人達があった。歩道に掘った防空壕の中にも、奥の方に顔を向けて四、五人からだをくっつけてしゃがんでいた。髪の毛や着ているものの上に白い灰がうっすら積もっていた。私達はこうして家に戻ろうとしているのに、どうしてこの人達は動かないのだろうか。生きるのをやめた人達は、もう何も気にしていないかのように、

じっと蹲っていた。

街はすっかり焼け、コンクリートの建物と蔵が建っているだけで遠くまで見渡せたが、自分の家は焼けないで残っている気がした。安倍川橋から一直線の広い本通りを歩いて、家のある通り近くまで来た時、道路に男の人が俯せて横たわっているのが見えた。便利屋の小父さんだった。

小父さんは脚をそろえて真つ直に伸ばし、両腕を頭の方に曲げて親指で耳の穴を塞ぎ、そろえた四本の指で眼を掩って、顔を地面につけたまま動かなかった。

小父さんのこの姿勢は、俯せて難を逃れる時はこうやって眼と耳を守ると、私達が学校で教えられた通りの恰好だった。

父が声をかけた時、小父さんももう駄目だと分かったと思う。それでももう少しやれる事があると思ったのだろう。この人は逃げるタイミングを逸したのだと人は言うだろうが、小父さんの最後の姿を忘れることができない。小父さんのあの姿勢は生きるための姿勢だった。

八月になると、頭上に炸裂した一瞬の閃光によって、判断はおろか何が起きたかさえ分からずに死んでいった、数え切れない人達がいたことを憶う。

戦争は人が惹き起こす。だれもが否応なく巻き込まれて戦争に加担することになり、銃を持たされて加害者になる。戦争がもたらす破壊と死を体験して、その記憶を忘れないでいる人が、身の周りからいなくなっている。

「新しい戦前」という言葉を知って、確かに私達はすでにそういう時代にいるのかもしれないという気がする。

令和6(2024)年10月～令和7(2025)年3月 学校法人静岡精華学園行事予定表

Table with 12 columns (months from October to March) and 31 rows of events. Includes dates, event names, and locations like '幼稚園', '中学校', '高等学校', '大学'.

注：(幼)＝幼稚園 (中)＝中学校 (高)＝高校 (大)＝大学 行事の予備日については各組織にお問い合わせください

編集後記 SEIKA

東京都と静岡県の教員採用試験に落ちた。準備もせずに受けたのだから当然の結果だったが、それにしても倍率は10倍を超えていた。昭和52年の夏のことである。

大学の恩師が心配してくれて、卒業後はある研究所で言語学の研究に携わることになったが、それを知らない静岡の父から12月に電話があった。「精華が社会科教員を募集している。俺が手配したから帰ってきて受ける」と言う。静岡に帰り、ノコノコと精華の面接を受けに行ったら受かってしまった。私の他にも3人の賢そうな学生たちが面接に来ていたので、どうして私が受かったのか謎である。東京に戻り、研究所に推薦してくれた先生に恐る恐る相談すると、怒るところが大きい喜んでくれた。一緒にいた門下生たちからは羨望の眼差しを向けられた。それくらい「先生」は皆が憧れる職業だったのだ。

ところが、今は教員不足だと言う。採用試験に人が集まらない。また、教員になっても1年も経たずに辞めていく先生が後をたたないそう。もったいないと思う。だって、子どもたちの成長の手助けができる素晴らしいやりがいのある仕事だと思うから。

この学園報からは、精華の教職員の教育にける思いが伝わってくる。このような人たちがいる限り、日本の教育界はまだ捨てたもんじゃないと思う。

編集部 S・W

ご寄付の御礼

令和5年5月の学園寄付募集開始以降、次の皆様からご寄付をいただきました。誠にありがとうございました。

- 勝又 千代子 様 ●服部 暢子 様 ●味村 文子 様 ●原 彰秀 様 ●熊本 淳 様 ●湯倉 光頭 様 ●杉田 泰子 様 ●静岡精華・大成同窓会有志一同 様 ●静岡精華・大成同窓会藤枝支部有志一同 様 ●静岡精華・大成同窓会島田支部 様 ●仁田 建介 様 ●大坪 雄次 様 ●山本 順次 様 ●大塚 昭代 様 ●太田 晴康 様 ●田崎 裕美 様 ●吉永 貴徳 様 (順不同。他、匿名希望6名様)

backnumber バックナンバーをご覧になりたい方はQRを。



R3 Vol.01



R3 Vol.02



R4 Vol.03



R4 Vol.04



R5 Vol.05



R5 Vol.06



R6 Vol.07



静岡福祉大学



静岡大成高等学校



静岡大成中学校



静岡精華幼稚園

学校法人静岡精華学園へのご寄付のお願い

「時代に即応する新しい人材の育成」をめざして 未来に向かって着実に歩みつづけます

日頃、静岡精華学園の教育活動に対し、多くの皆様のご配慮とご支援をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。本学園の創設者である杉原正市は「時代に即応する新しい女性の育成」という理念を掲げ、静岡県における女子教育のパイオニアとして明治36（1903）年、本学園の前身である私立静岡精華女学校を創設しました。その後、本学園は「時代に即応する新しい人材の育成」を建学の精神とし、静岡県内では伝統ある教育機関として今日まで歩んでおります。

本学園は私立学校ならではの特色ある理念に基づき、これまで百十有余年間にわたり優秀な人材を社会に送り出してまいりました。教育は人なりと申します。学園報でご紹介しましたように、本学園は園児生徒学生一人ひとりの人格と個性を大切に、すべての若者たちが生き生きとした学園生活を過ごすことができるよう教職員の一人ひとりが真剣に教育活動に携わり、学園を支えております。

こうした伝統をさらに継続するためには、少子化という社会情勢を踏まえ長期的な安定した財務基盤が欠かせません。そこで卒業生の皆様、企業・団体でご活躍の皆様におかれましては、趣旨にご理解を賜り、本学園へのご寄付を賜りたくお願い申し上げます。皆様からお寄せいただいたご寄付は学園の教育環境の一層の充実に活用させていただき、本学園ならではの良き伝統を今後も継続してまいります。

令和6年11月吉日
学校法人静岡精華学園理事長

杉原 桂子

募金事業内容

○目的 教育環境の充実

○使途

- ・静岡福祉大学教育環境整備募金
- ・静岡大成中学高等学校教育環境整備募金
- ・静岡精華幼稚園教育環境整備募金
- ・使途を限定せず

○寄付金額 1口3,000円以上（口数にかかわらずお受けさせていただきます）

○お申込み方法（税制上の優遇措置もあるため、お手数ですが先にお申込みをいただいてからのお振込みとなります。）

- ・下記宛にメール等でお申込みください。お知らせいただいたご連絡先に振込先のご案内等をさせていただきます。
- ・ホームページを通じた申込みも可能です。サイトアドレス：<https://s-seika.jp/>

○寄付者のご芳名は静岡精華学園報でご報告させていただきます。（公表を希望されない方は「匿名希望」と表記）

〒425-0063 静岡県焼津市本中根549-1 学校法人静岡精華学園 法人本部

電話：054-656-2100 メール：honbu@suw.ac.jp

●お申込みに必要な項目

1. 氏名
2. フリガナ
3. 郵便番号と住所
4. 電話番号
5. メールアドレス
6. 寄付金額
7. 寄付金の使途
8. 本学園とのご関係
卒業生 保護者 教職員 その他
9. ご芳名の掲載
承諾する 匿名を希望する
10. 「静岡精華学園報」の送付
希望する 希望しない

税制上の優遇措置について

本学園は文部科学省より特定公益増進法人の証明書の交付を受けていますので、個人様の場合、寄付金に対しては以下のように所得から控除され、税法上の優遇措置を受けることができます。

**その年中に支出した寄付金－2千円を所得より控除。
なお寄付金の額は総所得の40%が限度となります。**

ご寄付の御礼

令和6年6月から令和6年11月の間に、以下の皆様からご寄付をいただきました。誠にありがとうございました。

- ・湯倉 光頭 様
 - ・大塚 昭代 様
 - ・仁田 建介 様
 - ・大坪 雄次 様
 - ・山本 順次 様
 - ・静岡精華・大成同窓会島田支部 様
 - ・田崎 裕美 様
- （順不同。他、匿名希望1名様）

※ご寄付に際して提供いただきました個人情報は、ご寄付に伴う目的にのみ使用し、許可なく第三者に提供することはありません。